

～開業奮闘記～

誰が興味あるねん

八 治 屯

第51話 「夢」 其の弐

前回からの続き

かくして日曜日に僕の家で曲を無事録音できたN君は、意気揚々と帰って行きました。

そして次の週の昼休みに教室で昼食を食べていた時のこと。

我々の通っていた高校では、昼休みの昼食時は流行りの曲が放送で流れることになっておりましたが、

その日流れてきたのは、**ブルーハーツの「夢」**。

「おっ先週N君と録音したのと同じ曲や～」と思い聞いていたのですが、どうも**歌も演奏もちょっと下手**。

よく声を聞くと・・・**その声はN君だったのです**。

N君は隣のクラスだったので思わず廊下に飛び出したのですが、N君も同じタイミングで廊下に飛び出してきて、

大きな声で『**なっ!!! そういうことやねん!!!**』と満面の笑顔で僕に叫びました（どういうこと?）。

そう、N君はお昼に全校生徒に自分の歌声を聞かすために僕の家に来て録音していたのです。

でも、いくら録音したからといってどうやって放送することができたのかな・・・?と思ったのですが、そこで僕はあることを思い出したのです。

「**そうや、Fさんって放送部やった・・・!**」

そう、N君は自分の曲をかけてもらうために、**用意周到に何ヶ月も前からFさんにすり寄っていたのです!!**

それからは校内のバンド連中や歌が得意な人たちの中で、「自分が録音した音楽を昼休みに放送で流してもらう」ということが大ブームとなり、ロック野郎達が一斉にFさんにすり寄り出したのは言うまでもありません。

N君からは「**目標を達成するためには、時間をかけて計算して十分用意して臨まないといけない**」ということを存分に学びました。

ある時にはN君が「**俺はテレビに出るべき人間や! 必ず俺はテレビに出る!**」と言い出したこともありました。

当時は今よりも「テレビに出る」ということへのハードルが高い時代で、僕も「無理無理・・・」と思っていたのですが・・・。

ある日の朝、高校へ行く準備をしていた時のこと。

急に家の電話が鳴り、出てみるとN君からでした（当時は携帯はまだない時代）。

「**今から宣言通りデビューするからすぐにテレビをつけてくれ!!!**」

急いでテレビをつけると、『ズームイン!!朝!』という番組の司会の福留功男さんの後ろで、

すっとなきょうな顔をしてテレビに映るN君の姿が・・・!!!

・・・いや、確かにテレビには映ってるけど・・・!!! それは「映り込んでいるだけ」では・・・!!!

そんなN君のスタンスは高校を卒業してからも変わることはありませんでした。

N君は高校卒業後は進学せず、ある日急に萬田銀次郎よろしく真っ白なスーツを着て、ポストンバッグと片道切符だけ持って東京に行ってしまう。

東京ではかなりグレーな訪問販売で大儲けをしたらしいのですが、最後はミイラ取りがミイラになって自分が詐欺に遭ってしまい、結局2年後に無一文の状態で神戸に戻ってくることとなりました。

その後N君は神戸のライブハウスで働くこととなったのですが、**そこで彼は偉業を成し遂げることとなります・・・!!**